



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月5日
東

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所
 コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 西郷 泰広 (TEL) 019-621-5027
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	106,857	10.4	4,659	15.5	4,992	15.9	3,351	12.7
2023年2月期第3四半期	96,802	—	4,034	—	4,306	—	2,974	—

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 3,405百万円(15.1%) 2023年2月期第3四半期 2,958百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	171.06	—
2023年2月期第3四半期	151.26	—

(注) 2023年2月期第3四半期の各数値については、会計方針の変更を適用した後の数値となっております。
このため対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	71,874	32,855	45.7
2023年2月期	67,709	29,939	44.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 32,855百万円 2023年2月期 29,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,100	8.0	5,400	15.9	5,800	15.6	3,700	14.2	188.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年2月期3Q	19,740,219株	2023年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	145,229株	2023年2月期	145,229株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年2月期3Q	19,594,990株	2023年2月期3Q	19,663,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
3. その他	8
(1) 仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まったことや、雇用情勢の改善などにより、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、物価上昇や金融資本市場の変動などによる個人消費や経済活動への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、外出機会の増加による化粧品の需要回復や、季節商品の伸長はあるものの、物価上昇に伴う実質賃金の低下による売上鈍化が予想されるなど、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを青森県1店舗、宮城県2店舗、福島県2店舗の合計5店舗を新規出店いたしました。また、岩手県1店舗、秋田県1店舗、宮城県1店舗を退店し、この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は383店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局2店舗）となりました。さらに、岩手県と宮城県を中心に35店舗の改装を実施し、エリアドミナントと既存店の強化をいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,068億5千7百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は46億5千9百万円（前年同四半期比15.5%増）、経常利益は49億9千2百万円（前年同四半期比15.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億5千1百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

マスクや抗原検査キット等の新型コロナウイルス関連商品の反動減がありましたが、医薬品は感冒薬等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつや生理用品等が伸張したことにより、売上高は前年同四半期比0.5%増加し、194億3千3百万円となりました。

② ビューティ

化粧品はセルフ化粧品やポイントメイク等が伸張し、トイレタリーではヘアケアやエチケット等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比7.0%増加し、144億4千5百万円となりました。

③ ホーム

日用品は家庭紙や洗剤等が伸張し、衣料品では軽衣料、肌着等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品や殺虫、園芸等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比13.3%増加し、227億1千万円となりました。

④ フード

食品は飲料や日配品、冷凍食品、生鮮食品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比14.5%増加し、500億8千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、718億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億6千4百万円の増加となりました。

流動資産は345億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億9千8百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が4億9千6百万円増加、商品が33億円増加したことがあげられます。

固定資産は373億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千6百万円増加しました。主な増加要因は、改装等によりリース資産が増加したため、有形固定資産が1億5百万円増加したことがあげられます。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、390億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億4千9百万円の増加となりました。

流動負債は258億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億6千9百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が28億5千万円増加したことがあげられます。

固定負債は132億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億1千9百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の返済により17億6千7百万円減少したことがあげられます。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、328億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億1千5百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が28億6千1百万円増加したことがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2023年10月5日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,280	5,776
売掛金	1,524	1,877
商品	21,463	24,763
その他	2,150	2,100
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,419	34,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,115	27,442
土地	622	619
その他(純額)	2,497	3,279
有形固定資産合計	31,235	31,341
無形固定資産	281	279
投資その他の資産	5,773	5,736
固定資産合計	37,290	37,357
資産合計	67,709	71,874
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,485	17,335
1年内返済予定の長期借入金	2,943	2,468
未払法人税等	1,107	884
契約負債	802	861
賞与引当金	585	313
店舗閉鎖損失引当金	46	37
その他	3,276	3,914
流動負債合計	23,247	25,816
固定負債		
長期借入金	10,978	9,210
資産除去債務	1,722	1,757
その他	1,821	2,235
固定負債合計	14,522	13,203
負債合計	37,770	39,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	27,854	30,716
自己株式	△300	△300
株主資本合計	29,964	32,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25	28
その他の包括利益累計額合計	△25	28
純資産合計	29,939	32,855
負債純資産合計	67,709	71,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	96,802	106,857
売上原価	75,629	83,774
売上総利益	21,172	23,083
販売費及び一般管理費	17,137	18,423
営業利益	4,034	4,659
営業外収益		
受取利息	14	12
受取事務手数料	136	142
固定資産受贈益	37	24
受取保険金	14	83
その他	104	105
営業外収益合計	306	368
営業外費用		
支払利息	27	34
その他	7	1
営業外費用合計	35	36
経常利益	4,306	4,992
特別損失		
投資有価証券評価損	-	100
特別損失合計	-	100
税金等調整前四半期純利益	4,306	4,892
法人税、住民税及び事業税	1,205	1,657
法人税等調整額	126	△117
法人税等合計	1,331	1,540
四半期純利益	2,974	3,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,974	3,351

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	2,974	3,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	53
その他の包括利益合計	△15	53
四半期包括利益	2,958	3,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,958	3,405
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた「受取保険金」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より独立掲記しております。

以上の表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた118百万円は、「受取保険金」14百万円および「その他」104百万円として組み替えております。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	12,989	16.6	13,211	15.2	+1.7
ビューティ	10,423	13.4	11,535	13.3	+10.7
ホーム	17,061	21.8	19,335	22.2	+13.3
フード	37,647	48.2	42,976	49.3	+14.2
合計	78,121	100.0	87,058	100.0	+11.4

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第3四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	19,329	20.0	19,433	18.2	+0.5
ビューティ	13,499	14.0	14,445	13.5	+7.0
ホーム	20,048	20.7	22,710	21.3	+13.3
フード	43,762	45.3	50,084	47.0	+14.5
合計	96,639	100.0	106,674	100.0	+10.4

ロ. 地域別販売実績

当第3四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	13,735	14.2	15,209	14.3	+10.7
秋田県	14,435	14.9	16,085	15.1	+11.4
岩手県	30,687	31.8	32,816	30.7	+6.9
宮城県	23,607	24.4	25,882	24.3	+9.6
山形県	9,556	9.9	10,457	9.8	+9.4
福島県	4,616	4.8	6,222	5.8	+34.8
合計	96,639	100.0	106,674	100.0	+10.4